

予防接種

予防接種は、子どもに病気への抵抗力(免疫)をつけるために行っています。

予防接種を受けて感染症に対する抵抗力を身につけましょう。

接種の際は「予防診票」と「母子健康手帳」を忘れないようにしてください。

● ワクチンの種類と予防接種の間隔

異なるワクチンの接種間隔(令和2年10月1日から変更となりました)

生ワクチン

ウイルスや細菌の病原性を弱めてつくったワクチンです。その病気にかかったときとほぼ同じ仕組みで免疫力がつきます。そのため、まれにその病気と同じ症状が現れることがあります。

注射生ワクチン(BCG、MR、水痘)接種後、
注射生ワクチン(BCG、MR、水痘)を接種する場合に限り、
27日以上の間隔をあける

不活化ワクチン

ウイルスや細菌を殺し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしてつくったワクチンです。生ワクチンに比べて免疫力がつきにくいので、数回の追加接種が必要です。

次の予防接種まで 制限なし

● 乳幼児期に受きたい予防接種一覧と同じワクチン同士の接種間隔について

注射生 …… 注射生ワクチン 経口生 …… 経口生ワクチン 不活化 …… 不活化ワクチン

| 予防接種名 | 予防する病気 | 接種回数[標準的な接種間隔] | 対象年齢[標準的な接種時期] |
|-------------------|---------------------------------|--|--|
| 経口生 ロタ※1 | ロタウイルス 胃腸炎 | ロタリックス (1価) 2回 [初回接種後27日以上の間隔をあける] ロタテック (5価) 3回 [それぞれ27日以上の間隔をあける] | 出生6週0日後から出生24週0日後まで [1回目は出生14週6日後までの接種を推奨] |
| 不活化 ヒブ※2 | ヘモフィルスインフルエンザ菌b型による髄膜炎や肺炎など | 初回 3回 [それぞれ27日~56日の間隔をあける] 追加 1回 [初回の3回目終了後7か月以上13か月未満の間隔] | 生後2か月以上5歳未満 [生後2か月以上7か月未満に接種開始] |
| 不活化 小児用肺炎球菌※2 | 肺炎球菌による肺炎や中耳炎、髄膜炎など | 初回 3回 [それぞれ27日以上の間隔をあける] 追加 1回 [初回の3回目終了後60日以上の間隔をあけて生後1歳以降に1回] | 生後2か月以上5歳未満 [生後2か月以上7か月未満に接種開始] |
| 不活化 B型肝炎 | B型肝炎 | 3回 [2回目:初回接種後27日以上の間隔をあける 3回目:初回から139日以上の間隔をあける] | 1歳未満 [生後2か月以上9か月未満] |
| 不活化 四種混合 | ・百日せき ・ジフテリア ・破傷風 ・ポリオ | 1期初回 3回 [それぞれ20日から56日の間隔をあける] 1期追加 1回 [1期初回の3回目終了後12か月以上18か月未満の間隔] | 生後2か月以上7歳6か月未満 [1期初回は生後2か月以上1歳未満] |
| 注射生 BCG | 結核 | 1回 | 1歳未満 [生後5か月以上8か月未満] |
| 注射生 MR (麻しん風しん混合) | ・麻しん(はしか) ・風しん | 1期 1回 2期 1回 | 1歳以上2歳未満 5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間(幼稚園・保育園の年長児) |
| 注射生 水痘 | 水痘 | 2回 [初回接種後6か月以上12か月未満の間隔をあける] | 1歳以上3歳未満 [1回目は1歳以上1歳3か月未満] |
| 不活化 日本脳炎※3 | 日本脳炎 | 1期初回 2回 [6日~28日の間隔をあける] 1期追加 1回 [1期初回の2回目終了後、おおむね1年あける] 2期 1回 | 生後6か月以上7歳6か月未満 [1期初回は3歳以上4歳未満 1期追加は4歳以上5歳未満] 9歳以上13歳未満 [9歳以上10歳未満] |

※1 日本における予防接種では、ロタリックス(1価)とロタテック(5価)という2種類のワクチンが用いられています。一般的にはどちらか一方のワクチンを接種します。

種類によって接種回数や予防できるウイルスの型などが異なるため、詳しくは医療機関にお問い合わせください。

※2 生後2か月から7か月未満に初回接種した場合です。この期間に接種を開始しない場合は回数などが異なります。

※3 平成7年4月2日~平成21年10月1日生まれの人には予防接種を受ける機会を逃していることがあります。

接種に関する詳細については健康管理課にお問い合わせください。

● 予防接種のポイント

ワクチンは、種類ごとに接種できる時期や推奨期間が決められています。また、生ワクチンか不活化ワクチンかによって、次の予防接種までに必要な間隔も異なります。そのため、事前にしっかり調べてスケジュールを組み立てましょう。また、子どもの体調や周囲の感染症発生状況も考慮しましょう。詳しくは、医療機関や健康管理課などにご相談ください。

POINT1 当日はここをチェック

- 子どもの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないかなどを確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳は必ず持って行きましょう。
- 予防接種予診票は必要事項を記入した上で、必ず持って行きましょう。



POINT2 ワクチンを接種するときは

- スムーズに接種できるように、小さな子どもはしっかりと抱っこしてあげてください。親がリラックスすると、子どもも安心します。
- 注射で泣く子どもは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、頑張ったことをほめてあげるなど、親の態度や工夫がカギです。



POINT3 接種後の注意

- 接種後30分くらいは、体調に変化があってもすぐ対応してもらえるように、医療機関の中で子どもの様子を見て過ごすか、すぐに医師と連絡がとれるようにしておいてください。この間に急な体の変化が起こることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かさずようことはせず、接種箇所を清潔に保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種箇所をこすらないでください。



予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。予防接種をうけるにあたっての注意点など、より詳しく知りたい方は右記の二次元コードからご覧になれます。

公益財団法人 予防接種リサーチセンターウェブサイト



予防接種スケジュール

